

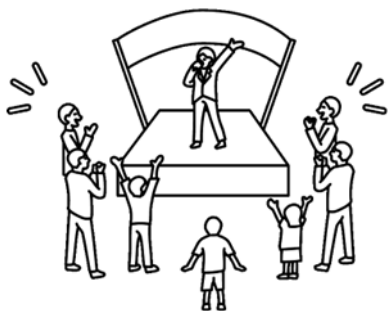
目指せ！感動区役所、いきいき地域、人とつながる市民センター

感動区役所



訪れた市民が新しい市政を体感し、職員一人ひとりの笑顔と心のこもった対応、空間の心地よさに感動する区役所、さらには地域にも感動をお届けする“**おせっかい区役所**”を目指します。

いきいき地域



いくつになっても活躍できる、学生生徒も企業団体も地域に貢献できる、お互い様が支え合う、いつまでも地域がいきいきする、新たな時代の担い手づくりを地域と共に進めます。

人とつながる市民センター



子どもから高齢者まで誰でも気軽に立ち寄れる、ここに来れば新しい出逢いと彩りと安らぎの暮らしへの扉が開く、人とのつながりを大切にする市民センターづくりを地域と共に進めます。

感動区役所



おもてなしの区役所づくり

A(1) 接遇と空間改善

笑顔の職場づくり

A(2) 内部事務の効率化・見直し

新しい市政を体感

A(3) 地域の活力を高める情報発信
A(4) 証明書コンビニ交付率向上等のPR強化
A(5) おせっかい区役所

いきいき地域



持続可能な地域づくり

B(1) 新たな地域の担い手を創出

C(1) 新たな地域の仕組みづくり

人とつながる 市民センター



市民センター機能の周知

A(6) みんなの市民センター

市民センターの運営体制確立

C(2) 市民センターの運営体制のあり方の
検討・見直し

感動区役所

現 状

職員の区役所改善提案 ⇒アイデア116件

■ハード

看板・案内板
照明
トイレ
花壇
飾り付け
フォトスポット
キッズコーナー
など

■ソフト

挨拶
市民対応
心構え
夜景や歴史のPR
市民の作品展示
Z世代対象の取組
など

Road to 感動区役所

区役所職員 4 チーム

設備
チーム

施設
チーム

彩発見
チーム

接遇
チーム

- ・明るく彩りある区役所空間の創造
- ・おもてなしマニュアル、スローガン策定 など

R7から始動

おせっかい区役所

- ・八幡東区まちづくり方針の実現に向けて、**4つの視点**に基づいた具体的な取組を様々な地元団体に提案
- ①共感を生むストーリー
- ②戦略的な発信
- ③マネタイズ④体験価値

新

区役所変革に向けて
地元企業、大学、市民と
協力して取組を推進

目指す姿

■来庁した区民が
快適で楽しく
利用できる

■笑顔で帰れる

「あの職員さんにもう
一度会いに行きたい」



■職員も働きやすい
区役所

「役所で働くお父さん
がおしゃれになった」
「役所で働くお母さん
が最近ウキウキしている」

■区役所と地域が
互いに提案しあう

「今度は〇〇をやって
みよう!」「それでは
こんな方法はどうか?」



現 状

□文化資源・観光資源の
魅力が十分に伝わって
いない

- ・単にその情報を提供し、知識を深めてもらうことに留まっている
- ・その価値や魅力が「八幡の宝物」であると感じられるところまで至っていない

□イベントの収益が
考慮されていない

- ・参加料等が適正な価格設定になっていない
- ・持続的・自律的な活動につながっていない



戦略的「おせっかい」4つの視点

①魅力・資源の深掘り

- ・共感を生むストーリー
- ・リブランディング

②戦略的な発信

- ・明確なターゲット
- ・ストーリーで魅せる

③イベントのマネタイズ

- ・適正な価格設定
- ・楽しく稼ぐ

④体験フィールド活用

- ・コト消費を意識
- ・体験の提供側も受け手側もお互いに満足

例えば祇園まつりなら、
①巡行図・山笠の形態などを写真・動画で深掘りしSNS掲載

②まつりの準備段階から本番まで継続して発信、競演会をライブ配信

③有料観覧席、オリジナルデザインのうちわ販売

④観光客等へのまつりの巡行体験

やってみませんか？



いきいき地域

現状

地域活動の担い手不足

少子高齢化・生活様式の変化

- 町内会加入率の低下
- 役員・委員の高齢化
- 民生委員・児童委員の定員割れ
- 公園愛護会の解散
- 次の世代が育っていない



新しい動き

大学

- ・ゼミ・フィールドワーク（研究）
- ・ボランティアへの関心（就職）

高校

- ・探求学習
- ・ボランティアへの関心（就職・進学）

企業・団体

- ・社会貢献
- ・地域人材の発掘、登用



仕組みを変える

考え方を変える

ex

- ◆ 要件緩和
- ◆ サポート会員制度
- ◆ 出張商店街

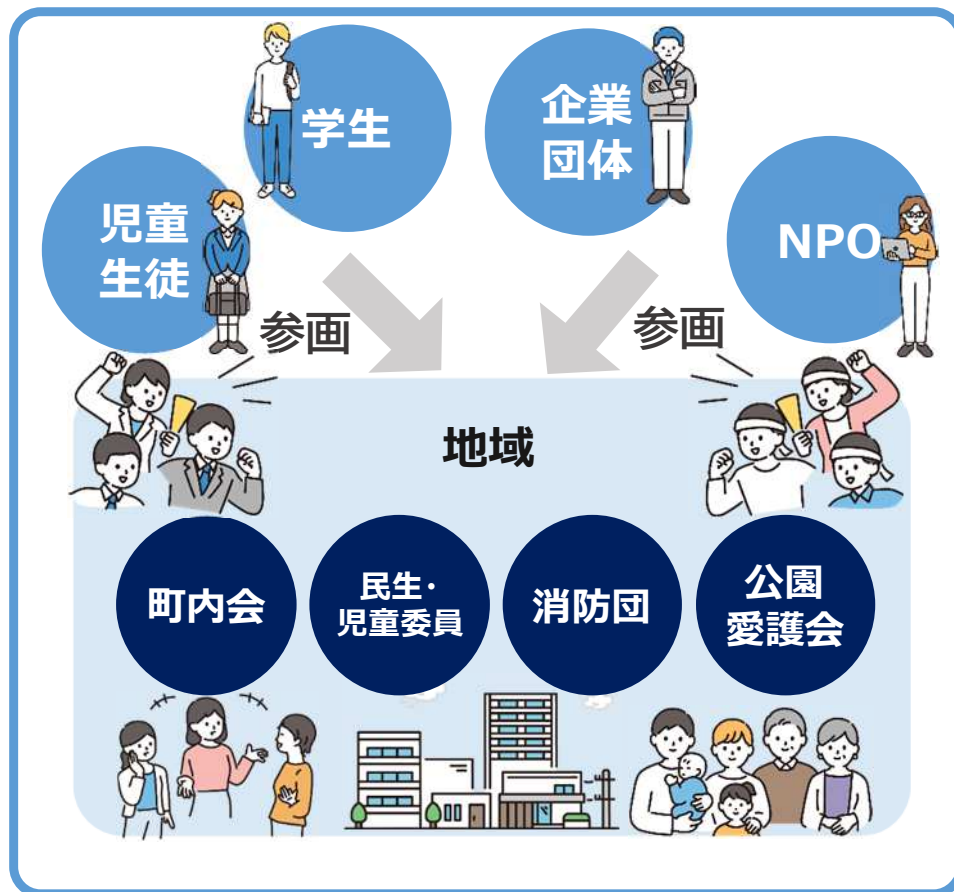


マッチングの
仕組みづくり

ex

- ◆ コミュニティデザイン
プロジェクト
- ◆ 学生フォーラム

目指す姿



いつまでも地域がいきいき

- いくつになっても活躍できる
- 新たな地域の担い手を創出
- 多様な参加者を増やす

人とつながる市民センター

現 状

稼働率が低い

- ・市民センター機能への認知度が低い
- ・利用者の固定化
- ・新規利用への敷居が高い

A(6)

市民センター機能の周知

- ・ニーズ調査の実施
- ・情報発信の強化（継続）
- ・魅力ある講座づくり（継続）
- ・職員の市民対応力向上（継続）

事務が煩雑

- ・講座の企画、物品購入事務
- ・館長等の勤怠管理
- ・利用申請の統計事務

R6年度に着手済

市民センターDXの推進

- ・Kintoneやgrafferを活用した管理システムの構築
- ・市民センターへのイントラ端末の導入
- ・使いやすい業務システムの導入

運営体制のねじれ

- ・館長と職員の間で直接の指揮命令系統がない
- ・市からの依頼に対応できる適正な人材の確保が困難
- ・市の求める機能に対する体制がとれていない

C(2)

運営体制のあり方の検討

- ・増加する業務に対応できる人材を確保するための委託料の増額
- ・各まち協への実態調査
- ・機能強化に向けた運営方法の検討、協議

目指す姿



▶ まちづくりの活動拠点

▶ 地域の困りごと等のコーディネート機能

地域活動参加への
きっかけづくり

地域のにぎわい
づくり